

interview——介護の仕事をしている人に聞いてみました

## 介護の仕事に向き合う私の"スタイル"

働く場所や経験年数などが異なる3人の方に、仕事の内容や、仕事に向き合ううえで大切にしている思いを聞きました。

※二次元バーコードから、各インタビューの内容をまとめた動画を見ることができます(水戸市公式YouTube)。

**人と向き合う仕事**  
認知症の高齢者が少人数で暮らすグループホームで働く、綿引あずささん。食事・入浴の介助、散歩、買い物など、利用者の皆さんの生活をサポートしています。

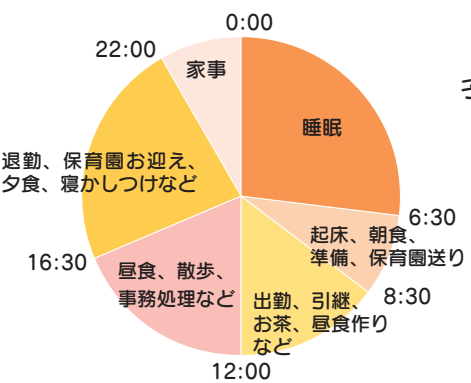
「ありがと」「綿引さんがいてくれて良かった」という一言に、「介護の仕事をしていて良かったと心から思う」と話す綿引さん。食事の下ごしらえや洗濯物を畳むちよとした時間も、利用者の皆さんとコミュニケーションを取ることでできる大切な時間です。綿引さんの笑顔に誘われて、皆さんの顔にも自然と笑顔が浮かびます。「自分が暗い気分していると、相手にもその雰囲気伝わってしまう。いつでも元気で明るく、笑顔でいようと思っています」。

綿引さんは「人と向き合う仕事なので、難しい、と感じる場面も度々あります」と話します。その

ような時に心がけているのが、「相手の気持ちを大切にすること」。相手と同じ気持ち、同じ目線になって接することで、一人一人に丁寧に寄り添いたいと考えています。

**子育てをしながら働く**  
介護の仕事始めて12年目。今は、1歳8か月の子どもを育てながら働いています。妊娠が分かったときには、仕事を辞めることを考えたという綿引さんは、「一緒に働くスタッフがサポートしてくれるおかげで、こうして働くことができます」と周囲への感謝を口にします。「家事・育児と仕事を両立することはやっぱり大変ですが、育児だけだと息が詰まってしまうことも。利用者と接することで気持ち切り替えています」。

現在は保育園に合わせてシフトを平日の日に固定。「これから自分のできる形で仕事を続けていきたい」と話しました。



子育ても奮闘中！

綿引さんのある日のスケジュール

朝は、職場のすぐ近くにある保育園に子どもを預けてから出勤。退勤後、迎えに行き自宅に帰ります。帰宅後は、夕食準備、夕食、入浴、寝かしつけと大忙し。そのあとに家事を行い、綿引さん自身も就寝。忙しい日々の中での息抜きは、「笠間焼の食器を集めること！」。



interview #01

いつも元気で明るく

綿引あずささん(34歳)  
グループホーム ハイブリッジ  
(米沢町)  
【認知症対応型共同生活介護】



特集

## 笑顔と元気を届けます！

11月11日は「介護の日」。今回の特集では、介護の現場で働く方々を紹介します。

「体力的にきつそう」「労働時間が長い」などのマイナスイメージがあると言われる介護の仕事。実際に現場で働く皆さんが話してくれたのは、大変さや苦労だけではなく、その中で見つけたやりがいや楽しさなど、前向きで元気な言葉と、介護の仕事への深い思いでした。

問合せ  
介護保険課 ☎232-9177

**超高齢社会で輝くひとに！ 暮らしを支える 介護の仕事**

**介護を必要とする人が増えています**  
「介護」は今、私たちの暮らしと切り離せないテーマになっています。

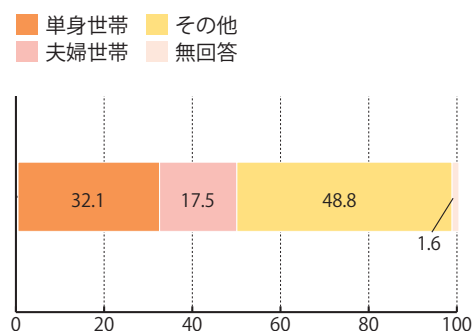
水戸市の65歳以上の高齢者人口の割合(高齢化率は26・1%(2017年))。4人に1人が高齢者となっており、高齢者単身の世帯や、高齢者のみの夫婦の世帯も増えています。

市内の介護を必要とする人(要支援・要介護認定者)の数も年々増加(下表1)。その本人が単身か夫婦のみの世帯は、介護を必要とする人がいる世帯のうちの約半数に上ります(下表2)。

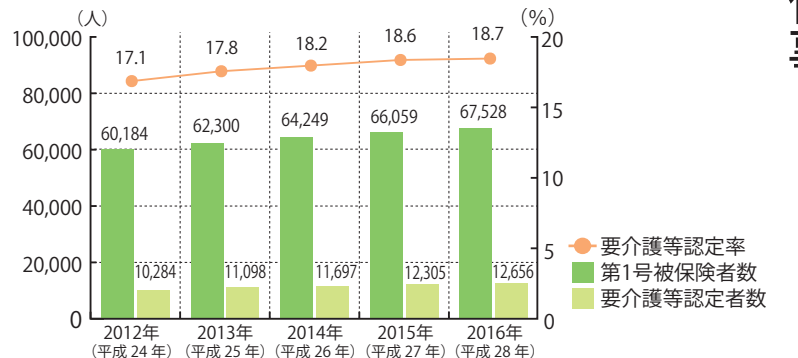
**誰にとっても身近な介護の仕事**  
このような状況を支える介護の仕事は、今後さらに身近な存在になっていきます。介護の仕事には、高齢者の皆さんが利用する施設や自宅などで食事、着替え、車いすでの移動、入浴、トイレなどの手伝いをすることや、散歩、買い物、レクリエーションなどの補助があります。日常生活のさまざまな面でサポートを行うほか、本人や家族にアドバイスを行うたり、相談にのったりします。

介護の仕事は、人の体も心も支える、大切な仕事です。

(表2) 要介護等認定者の世帯類型  
(在宅介護実態調査、水戸市、2016年)



(表1) 第1号被保険者数、要支援・要介護認定者数及び認定率の推移  
(水戸市介護保険課、2017年)







高年齢者の自宅や介護サービスを提供する事業所などで日常生活をサポートし、身の回りのケアを行います。

●訪問介護員

高年齢者の自宅や介護サービスを提供する事業所などで日常生活をサポートし、身の回りのケアを行います。

●介護職員

介護サービスを提供する事業所などで高年齢者の生活をサポートし、自立を支援します。

●生活相談員

住んでいる地域や施設でより快適に生活できるように、高年齢者やその家族の相談に応じて環境を整えます。

●介護支援専門員

高年齢者やその家族の相談に応じて、本人の心身の状況に適した介護サービスの利用計画（ケアプラン）の作成や、市町村・事業者・施設との連絡調整を行います。

介護の専門的な知識や技術が必要です。

## 介護の仕事をしてみませんか

資格取得や就職を支援します

誰にとっても関わりのある介護の仕事。経験や資格がなくても、研修などを経て働くことができます。また、介護福祉士などの資格を得ることで、より良い介護サービスを提供することができます。

詳細は、下記の各問合せ先または市介護保険課（☎232・9177）にお問合せください。

### 資格取得や就業などを支援する制度

#### 働きながら資格を取得

##### ▼県介護人材確保育成事業

派遣期間中、県内の介護施設・事業所で働きながら介護の資格を無料で取得できます。派遣期間終了後は、双方合意のうえ、直接雇用となります。

対象／介護施設での就業を希望する方

勤務地／県内の介護施設・事業所

給与／有資格者…時給1,500円 無資格者…時給1,200円

※交通費は別途支給。各種保険完備（加入要件あり）。

問合せ／マンパワーグループ（☎0120-557-136）または県福祉指導課（☎301-3197）

#### 資格取得などのための貸付制度

いずれの貸付金も、全額返還免除制度があります。募集時期など、詳細は、お問合せください。

問合せ／県社会福祉協議会（☎350-8366）

##### ▼介護福祉士修学資金等貸付制度

対象／介護福祉士養成施設に在学する方

貸付額と対象費用／修学資金…月額5万円以内、入学準備金…20万円以内など

##### ▼介護福祉士実務者研修受講資金貸付制度

対象／介護福祉士を目指す方

貸付額／20万円以内

対象経費／実務者研修受講費、研修に係る交通費、資格取得のための参考書、受験手数料など

##### ▼離職介護人材再就職準備金貸付制度

対象／介護の実務経験が1年以上あり、再就職する方

貸付額／40万円以内

対象経費／転居費用（就職に転居を伴う場合）、仕事での被服費、通勤用自動車の購入費など

#### 【介護福祉士】

専門的に介護を行うための国家資格。「介護のプロ」として、さまざまな場面で活躍できます。

### 就労を支援する窓口

#### ▼ハローワーク水戸

求職・求人の両面から人材確保の支援を行っています。日時など、詳細は、お問合せください。

問合せ／☎231-6223

#### ▼茨城県福祉人材センター（無料職業紹介所）

福祉の職場に就職を希望する方に、無料で仕事を紹介しています。

日時／土・日曜日、祝日、年末年始を除く毎日…午前9時～午後5時

問合せ／☎244-4544

#### ▼いばらき就職・生活総合支援センター（ジョブカフェいばらき）

県が運営する無料職業紹介所です。就職に関する総合的なサポートをします。

日時／月～金曜日…午前9時～午後7時

第2・4土曜日…午前9時～午後4時

問合せ／☎300-1916

### 市内の介護福祉士養成施設

学校	学科	電話番号
いばらき中央福祉専門学校	介護福祉科	☎259-9292
大原医療福祉専門学校水戸校	介護福祉学科	☎232-8038
水戸看護福祉専門学校	介護福祉学科	☎221-8050
リリーこども＆スポーツ専門学校	介護ふくし学科	☎226-0206

### 募集 なるな寝たきり つくるな寝たきり

高齢化社会で重要な介護予防について、実例をまじえてお話しします。どなたでも参加できます。

日時／11月22日（木）、午後1時30分～3時30分 場所／県立健康プラザ（笠原町） 定員／100名（定員になり次第締切り） 料金／無料 講師／大田仁史（県立健康プラザ管理者） 申込み／当日受付

問合せ／介護労働安定センター茨城支部（☎227-1215）または市介護保険課（☎232-9177）へ



## interview #02

### 自分なりのやりがいが見つかる

大川裕貴さん（27歳）  
デイサロン櫛俱樂部（酒門町）  
【通所介護（デイサービス）】



#### 大川さんのある日のスケジュール

8:00	出勤、朝礼、引継・予定確認、準備、お迎え
9:00	健康チェック、連絡、入浴、食事準備
12:00	昼食
13:00	お茶タイム、ゲーム
14:00	レクリエーション
15:00	相談、会議
16:00	お見送り
17:00	片づけ、事務処理、退勤

#### 介護の仕事をした

大川裕貴さんは介護の仕事に就いて6年目。家族が福祉の仕事をしている姿を見て、「人と接する仕事が見たい」と、工業高校を卒業後、介護の専門学校で学びました。

デイサービスでは、利用者の皆さんは日帰りで食事や入浴などの日常生活の支援を受けたり、体を動かすレクリエーションなどに参加したりします。大川さんは生活相談員として、利用者本人やその家族からの相談を受けるほか、スタッフやケアマネジャーとの連絡調整、レクリエーションの企画などを担当。働きながらケアマネジャーの資格も取得しました。

#### さまざまなことが得られる現場

「大川さんの明るい表情や声に、いつも元気をもらっています」と



## interview #03

### "人生の先輩"に学ぶ

生田目裕子さん（34歳）  
ナザレ園サポート24水戸（石川1）  
【定期巡回・随時対応型訪問介護看護】



#### 生田目さんのある日のスケジュール

8:30	出勤、訪問記録の確認、引継
9:00	訪問（複数）
12:30	昼食
13:30	訪問（複数）
17:00	事務処理、情報の共有
17:30	退勤

#### 大変だからこそ明るい職場

「介護の仕事は、つらかったり、大変だったりするというイメージかもしれないですが、実際は仲間と支え合い、明るい雰囲気。迷っている人は、思い切って飛び込んでみて」とエールを送るのは、介護職12年目の生田目裕子さん。介護の仕事に就いたのは、「人生の先輩からいろいろなことを吸収して、自分自身が成長できると思ったから」と話します。

#### 利用者の安心を支える技術と心

生田目さんは、利用者の自宅を訪問し、トイレの介助や車いすからの移動など、身の回りのことをサポートします。訪問記録はデータ管理システムで情報共有。業務用のスマートフォンなどで確認できます。利用者の家族も同じように簡単に見ることができると、離れて暮らしていても安心です。

こちらのサービスでは、定

◀連絡用のテレビ電話。スタッフの顔を見ながら話すことができる



期的な訪問のほか、急な呼び出しなどにも24時間対応し、在宅での生活を支援しています。「サービスの主な利用者は、高齢者のみの世帯や、退院したばかりで自宅でのペースがつかめていない方が多いです」とスタッフの一人、鈴木幸子さん。24時間、柔軟に対応することが、利用者の安心につながっています。

訪問時には、利用者の自宅の部屋の様子などにも気を配ります。一人一人のこれまでの人生を尊重し、どんな気持ちを抱いているのかを想像しながら接しているという生田目さん。今後、介護が必要な高齢者が自宅で過ごすことが増えていく中で、「利用者の方に、この先の生き方について前向きに考えてほしい。そのお手伝いがしたい」とまっすぐに前を見つめました。



右は鈴木さん